

安曇野工業会
会員各位

安曇野工業会
環境安全部会会長
桜井 克治

「企業経営」に係る「SDGs」 研修会開催のご案内

向寒の候、会員皆様におかれましては、ますますご清祥の事とお喜び申し上げます。

この度、表題の研修会を計画いたしましたので奮ってご参加ください。

皆様、ご承知のこととは存じますが「SDGs」は2015年 国際連合において193カ国の賛同を得て採択された後、全世界に瞬間に広がりました。日本も例外ではありませんが、残念ながら先進国の中ではやや遅れをとっている感もあります。現在、政府を中心に広く浸透しつつあり、特に長野県はその先進県として知られております。「SDGs」は国、地方自治体、企業を含む各種団体、個人に至るまで、あらゆる階層が取り組むべき課題として提案されているものです。今回の研修会はその入り口として、「SDGs」とは何か、何故必要なのか、何を求めているのか、といったことを「企業経営」という視点から解説するものであります。多くの会員企業並びにその社員の皆様が聴講され、具体的な活動への一助として頂ければ幸いです。

参考

1. SDGs採択の背景

「今のままでは近い将来、経済成長どころか、我々人類の存続自体が危ぶまれる状況にある」という考え方が社会全体に広がっています。

(国連において16歳の少女が言い放った「私達は絶滅の始まりにいるというのは、あなた方の話しは「経済成長」というお伽話ばかり」という発言が注目されました)

2. 何を求めているのか

人類が今までやってきたことにより環境破壊が起こり、かつて経験したことのない急激な気候変動が現実のものとなりつつあります。つまり、今までの生活スタイル、企業経営モデルを続けてはいけなことを意味します。(モデルを変えなければならない)

3. 具体的に何をすべきか

2030年までに達成すべき具体的なビジョン(目標)を設定し、活動して、その状況を開示することが求められるようになります。

4. その「目標」とは

求められているものは「改善」ではなく「変革」であります。

5. 「SDGs」に取り組まなければどうなる?

無関心のままでは社会から不要とされ、2030年時点で人類の絶滅が始まっている

かも知れません。

〈注釈〉

- ・ 必要であれば個別事業者様へのアドバイス対応も可能です。関心ある方は安曇野工業会事務局へお問い合わせください。
- ・ 長野県の中でも、会の中で「SDGs」研修会を開催できるのは当会だけです。研修を入り口としてご参加ください。

【開催日程】

- ① 日 時 令和元年12月19日(木) 13時30分から15時30分
- ② 場 所 安曇野市豊科大黒屋・「会議室」
- ③ 講 師 安曇野工業会環境安全部会顧問
地球温暖化防止コミュニケーター
長野県地球温暖化防止活動推進員
本木修一 氏
- ④ 講師実績 ◎会員企業訪問による現場に即した、環境指導
環境における企業が対応すべき危機管理について定評がある
◎経営層としての実務経験により、[本木の経営十訓]に基づき「佐久平中小企業振興協会」総会にて、経営層に基調講を実施
◎環境ISO・エコアクション取得時のアドバイス

=====
会参加申込書

企業名 _____

役 職・氏 名
(役職)
(氏名)

0263-40-5011 安曇野工業会事務局(藤沢)宛

(SDGsとは)

「SDGs (エスディーゼーズ)」とは、「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」の略称であり、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた、国際社会共通の目標です。

「SDGs(持続可能な開発目標)とは、“2030年までに達成すべき17の目標”

